

景気動向調査

「(山形・秋田)県内企業の景気動向調査」(概要)

1 調査の目的

山形・秋田県内に本社を置く法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しについて調査を行い、景気の動向を把握することを目的とする。

2 調査の方法

すべての質問事項についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」= [(「良い」と回答した企業の割合) - (「悪い」と回答した企業の割合)]

3 調査期間

平成30年11月1日(木)～14日(水)

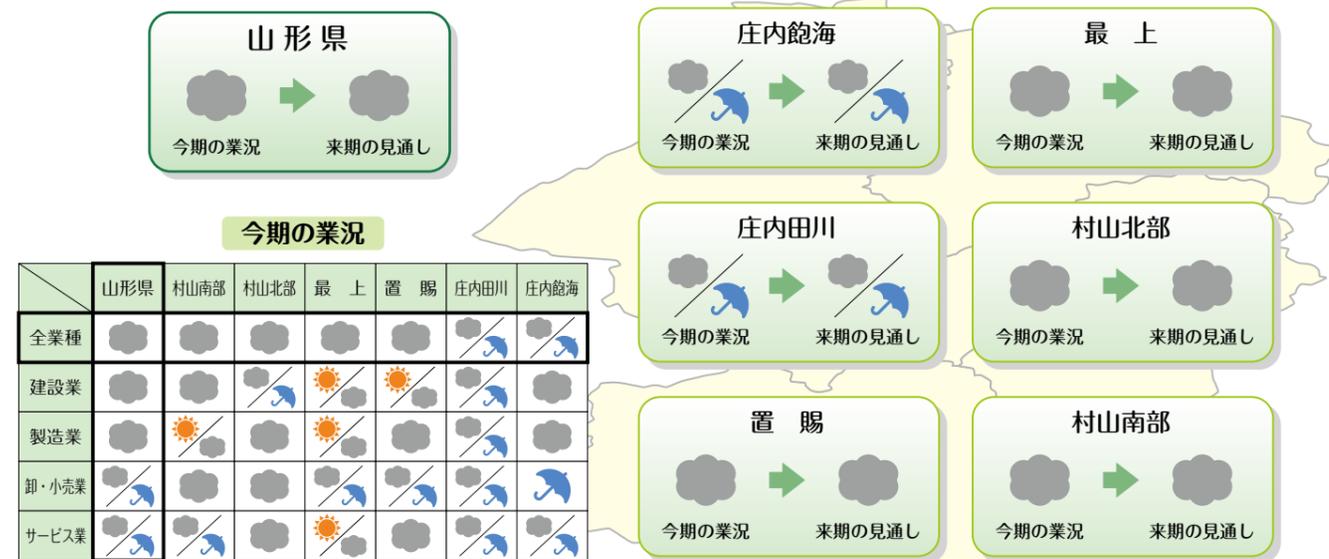
4 サンプル概要

アンケート対象企業 山形674社、秋田525社
有効回答数 山形418社、秋田366社
回答率 山形62.0%、秋田69.7%

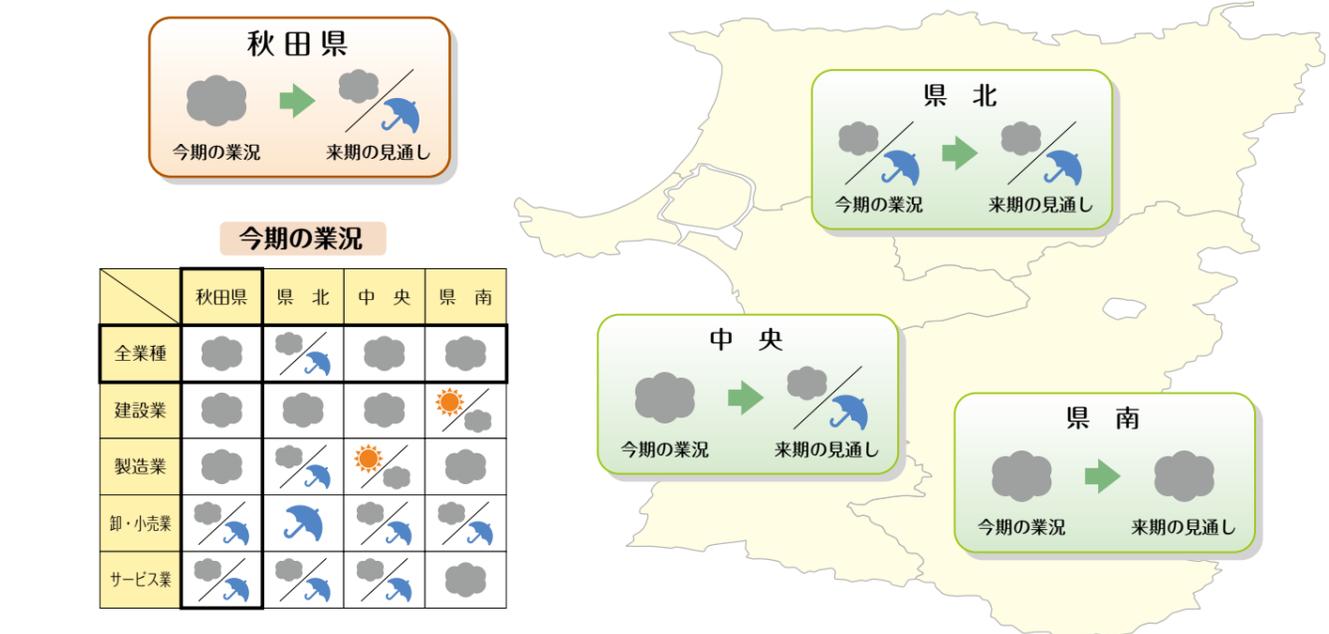
特に好調 DI \geq 30	好調 30>DI \geq 10	まあまあ 10>DI \geq ▲10	不振 ▲10>DI \geq ▲30	きわめて不振 ▲30>DI

▶ 景気天気図

第57回「山形県内企業の景気動向調査」



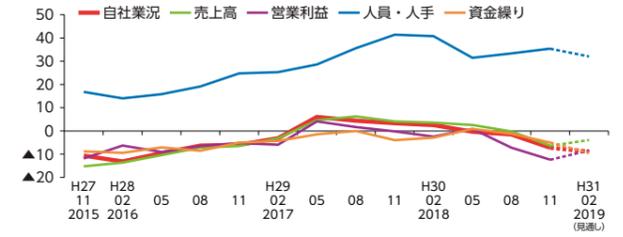
第30回「秋田県内企業の景気動向調査」



▶ 自社業況の動向

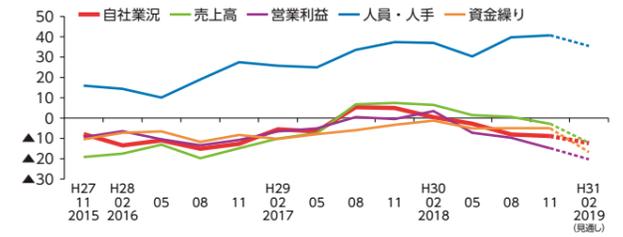
山形県の業況は、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲7.2(前回調査比5.7ポイント下落)と小幅ながら**6期連続で悪化**した。「各種DI値(前年同期比)」では、「売上高」「営業利益」「資金繰り」が悪化し、「人員・人手」は2期連続で上昇した。原燃料価格上昇の影響がうかがえるとともに、依然として人手不足感も高い。

図表1 山形「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



秋田県の業況は、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲8.8(前回調査比0.8ポイント下落)と**5期連続の悪化**となり、3期連続でDI値がマイナス値となった。山形県同様に、長引く人手不足感の影響や、燃料費・原材料費の上昇傾向が景況感を下押ししている状況が続いている。

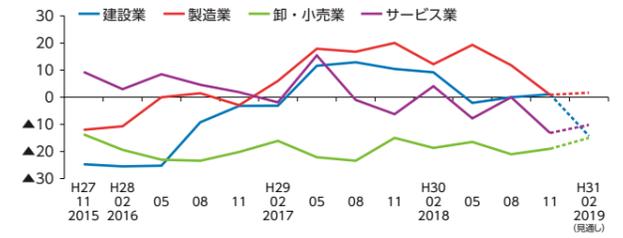
図表2 秋田「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



▶ 業種別の動向

山形県の業況(前年同期比)を業種別にみると、**建設業と卸・小売業で改善**したものの、**製造業とサービス業で悪化**となった。サービス業では、DI値がマイナスに転じた。先行きは建設業で悪化、その他の3業種では改善の見込みとなっている。

図表3 山形・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



秋田県の業況(前年同期比)を業種別にみると、**製造業が2期連続の改善**となった一方、**建設業は2期連続、卸・小売業とサービス業は5期連続での悪化**となった。先行きは、建設業と製造業では悪化が見込まれているものの、卸・小売業とサービス業では改善が見込まれている。

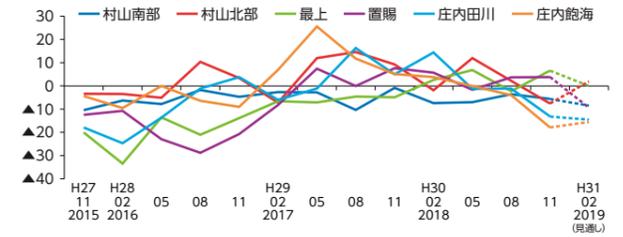
図表4 秋田・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



▶ 地域別の動向

山形県の業況(前年同期比)を地域別にみると、**最上で改善、置賜でほぼ横ばい**となったものの、**村山南部、村山北部、庄内田川、庄内飽海で悪化**となった。村山北部ではDI値がマイナスに転じている。先行きは、村山南部、最上、置賜、庄内田川で悪化が見込まれている。

図表5 山形・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



秋田県の業況(前年同期比)を地域別にみると、**県北が5期ぶりに改善**した一方、**中央は5期連続で悪化、県南は3期ぶりの悪化**となった。先行きは、県南では横ばい、県北と中央では悪化の見通しとなっている。

図表6 秋田・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

